

## 昔の遊びに親しんで お手玉を寄贈

3月2日（水）、子どもたちに昔ながらの遊びに親しんでもらおうと昨年3月に解散した生活改善グループ連絡協議会の元メンバーが手作りのお手玉約850個を町教育委員会へ寄贈しました。

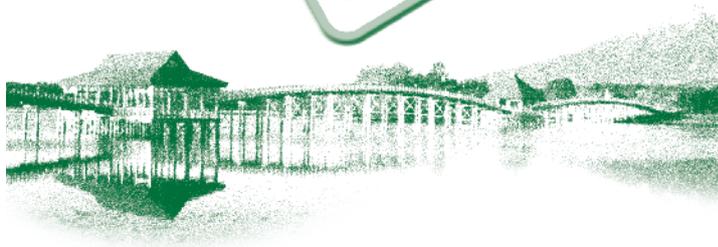
同グループは20年ほど前から毎年、お手玉を作って寄贈してきましたが、高齢化などの理由で解散し、今回は最後の寄贈となります。

お手玉はメンバー有志11人ほどで1年間かけて制作。この日は小野寺のり子さん、一戸濤子さん、笹森千恵さん、澤田なよさんが町役場を訪問し、山本真規子教育長にお手玉を寄贈しました。小野寺さんは「作る時は集まる楽しみもあり、とても良い思い出でした。子どもたちにはいろいろな遊び方で使ってほしいです」と話していました。

寄贈されたお手玉は鶴田小学校や放課後教室などで使われます。



△山本教育長（左）にお手玉を寄贈した（右から）小野寺さん、笹森さん、一戸さん、澤田さん



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

## 町のりんご産業発展に向けて研修修了

3月14日（月）、「第32期 青森県りんご産業基幹青年」研修の修了報告を相川町長に行いました。

この事業は青森県のりんご産業発展のため、県内のりんご関係市町村から選抜されたりんご農家の青年に、生産技術や一般教養に関する基礎教育を行い、地域組織活動の中核的役割を果たすりんご青年を育成するものです。

この日は2年間の研修を終えた町りんご農家5人が相川町長へ研修の内容などを話し、これからの展望などを語りました。

### ▷研修修了者

貴田勇さん、山形和也さん、八木橋隆さん、石岡隆治さん、松元秀樹さん



△相川町長へ修了報告を行った若手りんご農家たち

## コロナ禍の災害対応 訓練実施

3月23日(水)、町では災害発生時の緊急対応や避難所運営ができる防災拠点をつくる研修会を「一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと」指導のもと行いました。

この研修は2021年10月にB & G財団の「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築時業」の助成によって行われており、町職員や消防署署員約20人が参加。コロナ禍の中での災害を想定して体調に合わせた避難者の受け入れ方法を体験。このほかにも段ボールベッドを組み立てたり、プライバシーを守るための仕切りを設置したりして避難所の運営方法について学びました。

参加した職員は「いざというときすぐに対応するためには、日ごろからこのような訓練が必要だと感じました」と話していました。



△段ボールベッドを組み立てる参加者たち



△4月2日販売されたシャインマスカットワイン

## 今年も販売 シャインマスカットワイン

4月2日(土)、道の駅つるた鶴の里あるじゃは昨年に引き続き、100%町内産のシャインマスカットのみを使用した、白ワインを販売しました。

町内2農家から、色味の問題で生食用での出荷に不利な2021年産のシャインマスカット210kgを買い入れ、業者に加工を依頼。道の駅つるたの一戸駅長は「使用したブドウは色味の問題で生食用ではA級品にはならないが、糖度は20度以上で甘みがとても優れている。昨年よりも良質なワインになっている」と話していました。

昨年は80本限定で即日完売したため、今年は150本を用意。販売初日は昨年の売上げを超え、販売から4日で用意した本数が完売しました。

このワインは店頭販売とは別に数量限定で町のふるさと納税返礼品としても提供されています。



Vol.45(筆: 山田園実)

今年の雪の多さは本当に異常でした。畑の雪もなくなるまで時間がかかりましたし、ぶどうの枝や支柱も折れたり倒れたり被害を受けました。自然現象なので仕方のないことですが…。

そんな中、今年も農作業がスタート!残っていた枝の剪定をし、麻紐でワイヤーに結び付ける作業をしました。やっぱり外での農作業は気持ちが良い!これからどんどん忙しくなりますがこの気持ちは忘れずにいたいです。

今年も甘くて美味しいスチューベンが実ってくれるよう精一杯がんばります。



△雪に埋もれた園地と園実さん

山田さんの SNS



Twitter



facebook

地域おこし協力隊の活動内容は、SNS・町ホームページでも確認することができます。